

講座テーマ

～デジタルシェルフをどう確保するか～

「買い物行動」の変化と Eコマース販売の最前線



itsumo.

講師紹介



株式会社いつも
取締役副社長
望月 智之



株式会社いつもの共同創業者。数多くのメーカー企業にデジタルマーケティング支援を行いながら、消費財・ファッション・食品・化粧品のライフスタイル領域を中心に、デジタルシフトやEコマース戦略などのコンサルティングも手掛ける。

ニッポン放送でナビゲーターをつとめる「望月智之 イノベーターズ・クロス」他、「J-WAVE」「東洋経済オンライン」等メディアへの出演・寄稿やセミナー登壇など多数。著書に『2025年、人は「買い物」をしなくなる』、『買い物ゼロ秒時代の未来地図』がある。

いつも. の概要



会社名	株式会社いつも
創業	2007年2月14日
所在地	東京都千代田区有楽町1-12-1
資本金	7億3675万円
従業員数	284名（2022年3月末時点、アルバイト等含む）
事業内容	EC・D2Cの総合支援
上場市場	東証グロース (証券コード:7694)



いつも. の対応領域



中小・大手メーカーの

①様々な商品に対応



化粧品



ベビー



食品



インテリア



日用品



家電



アパレル



ペット



itsumo.

②ECバリューチェーンの全てを支援

EC戦略の立案

サイトの
構築・運営

デジタル
マーケティング

カスタマー
サービス

倉庫保管
フルフィルメント

③マルチなECチャネルへの展開を支援

楽天市場

Amazon

Yahoo! /PayPay

自社EC

グローバルEC

いつも. の支援実績



アパレル・美容・健康

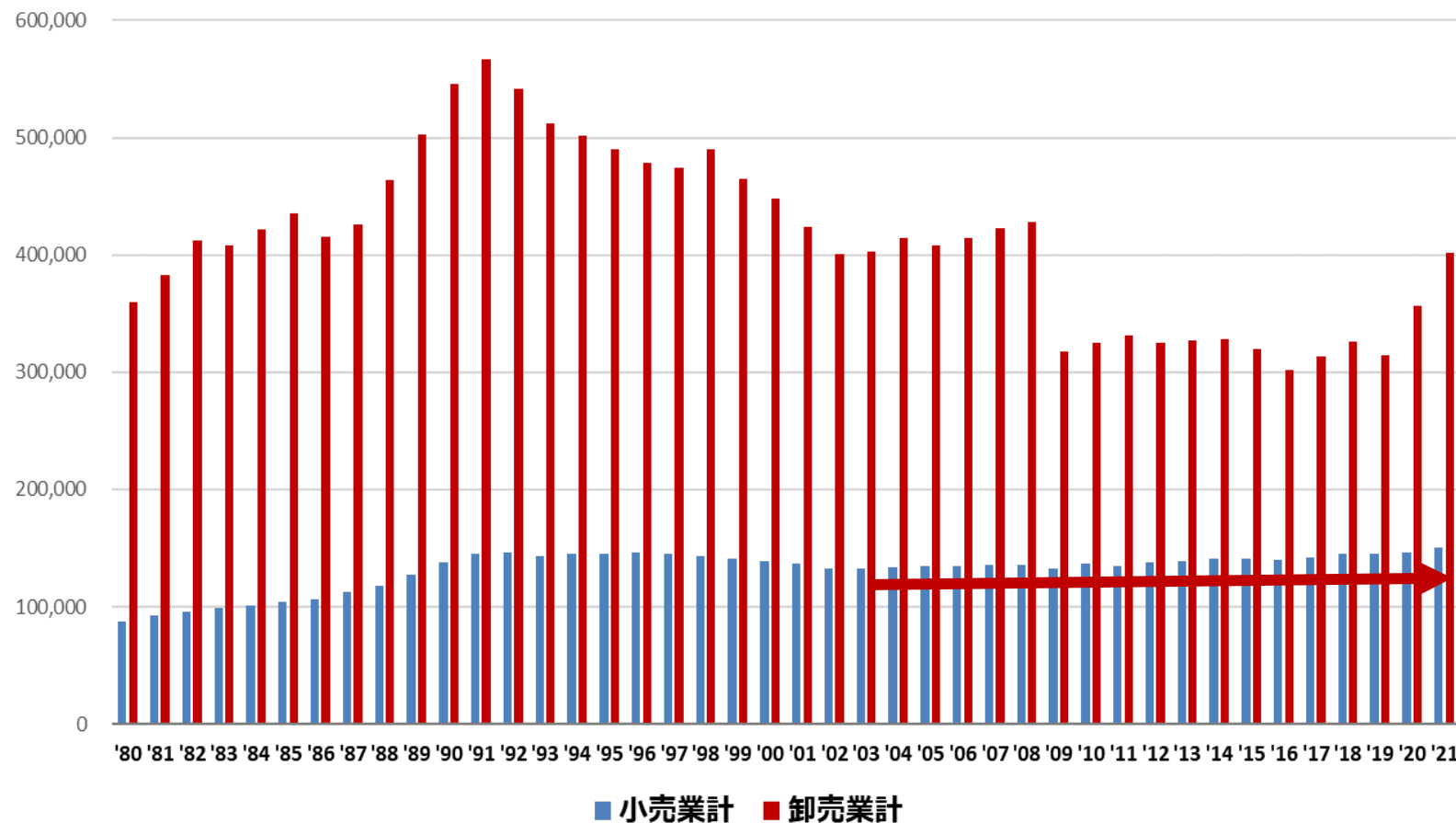
食品・飲料

生活雑貨・趣味

総合・他



物販小売り市場の動向



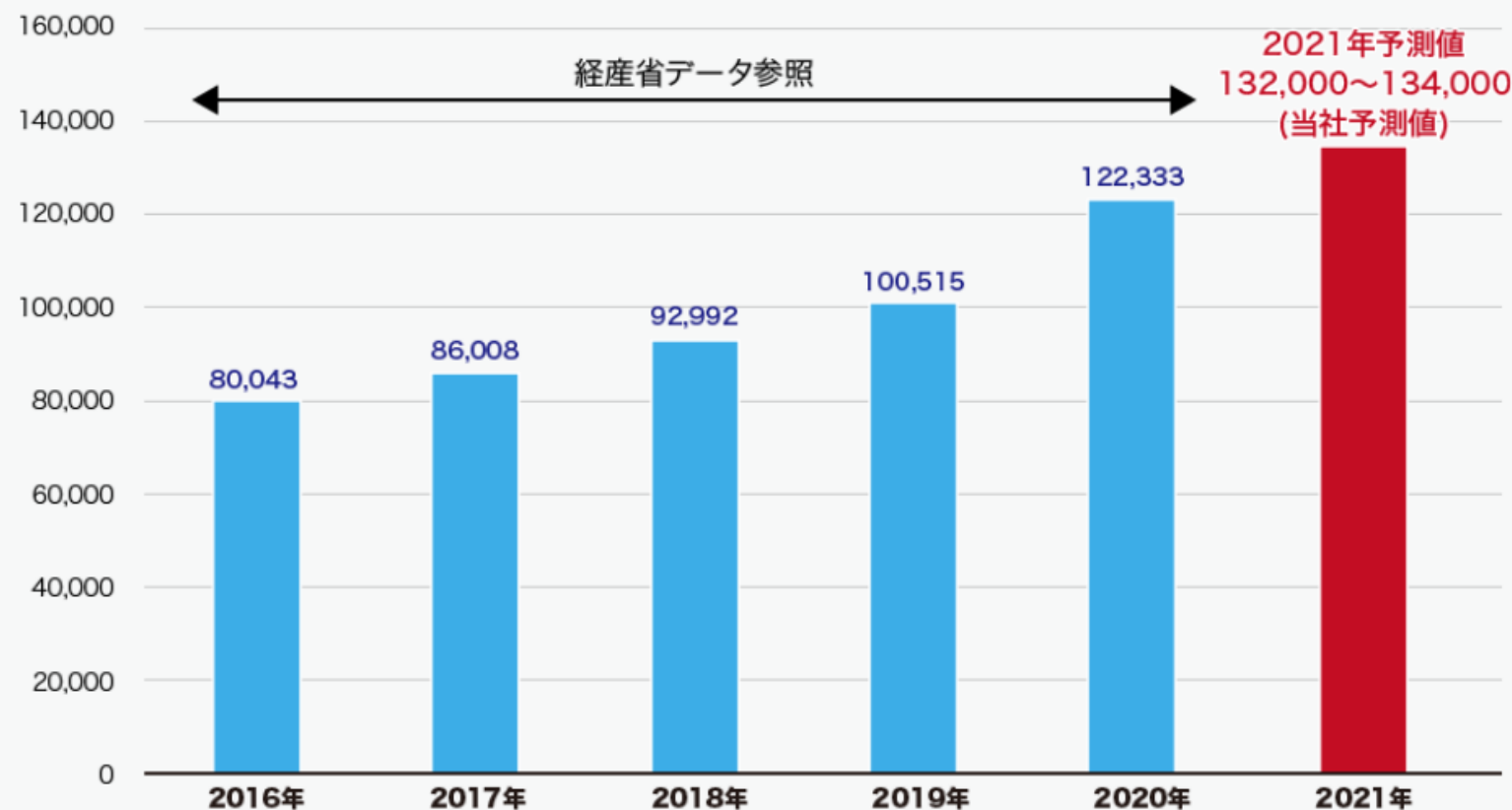
小売り市場は
ここ20年
130兆円前後で
横ばいで推移

出所: 商業動態統計調査(経済産業省)発表のデータを集計して作成
<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/syoudou/index.html>

ECの市場規模予測



2021年度の物販系のBtoC-EC市場規模予測
(市場規模の単位: 億円)



参照: 令和2年度 経済産業省(電子商取引に関する市場調査)をベースに当社予測

物販系EC市場

13兆突破市場へ

(参考: 他の市場規模)

スーパー市場: 約13兆円

百貨店市場: 約4兆5千億円

コンビニ市場: 約4兆8千億円

ドラッグストア市場: 約8兆円

商材別のEC化比率



図表 4-17：物販系分野のBtoC-EC市場規模

分類		2019 年		2020 年	
		市場規模 (億円) ※下段：前年比	EC 化率	市場規模 (億円) ※下段：前年比	EC 化率
①	食品、飲料、酒類	18,233 (7.77%)	2.89%	22,086 (21.13%)	3.31%
②	生活家電、AV 機器、PC・周辺機器等	18,239 (10.76%)	32.75%	23,489 (28.79%)	37.45%
③	書籍、映像・音楽ソフト	13,015 (7.83%)	34.18%	16,238 (24.77%)	42.97%
④	化粧品、医薬品	6,611 (7.75%)	6.00%	7,787 (17.79%)	6.72%
⑤	生活雑貨、家具、インテリア	17,428 (8.36%)	23.32%	21,322 (22.35%)	26.03%
⑥	衣類・服装雑貨等	19,100 (7.74%)	13.87%	22,203 (16.25%)	19.44%
⑦	自動車、自動二輪車、パーツ等	2,396 (2.04%)	2.88%	2,784 (16.17%)	3.23%
⑧	その他	5,492 (4.79%)	1.54%	6,423 (16.95%)	1.85%
合計		100,515 (8.09%)	6.76%	122,333 (21.71%)	8.08%

食品、化粧品系は
EC化率が低めで、
伸びる余地が大きい

出所：令和2年度 経済産業省（電子商取引に関する市場調査より）

ECの主要販売チャネル動向



2021年物販系EC市場規模：約13兆円（当社推計）

ECプラットフォーム系 約9.5兆円

自社EC系 約3.5兆円

楽天市場 約3兆5,000億円

※ショッピングモールのみ

Amazon 約4兆円

※ベンダー・セラー込み

Yahoo! ショッピング(PayPay モール、ロハコ) 約1兆3,000億円

ZOZOTOWI 約4000億円

auPAY マーケット
約1,700億円

Qoo10
約2,000億円

他

自社EC系
約3.5兆円

ECプラットフォーム・自社EC市場規模は、いつも独自の推計

良い売場が大きく変化中



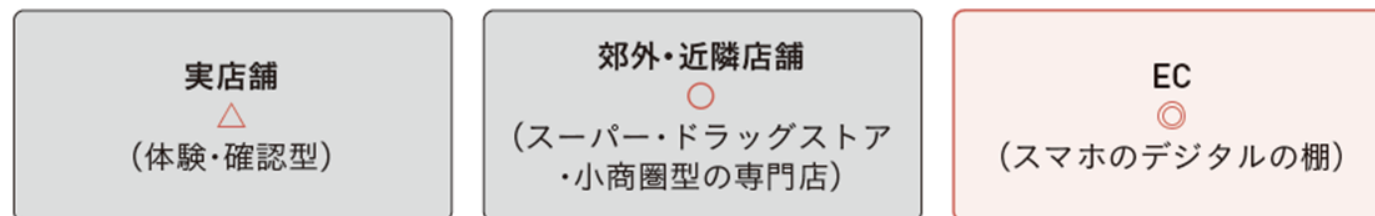
1990年～2000年代



2010年代



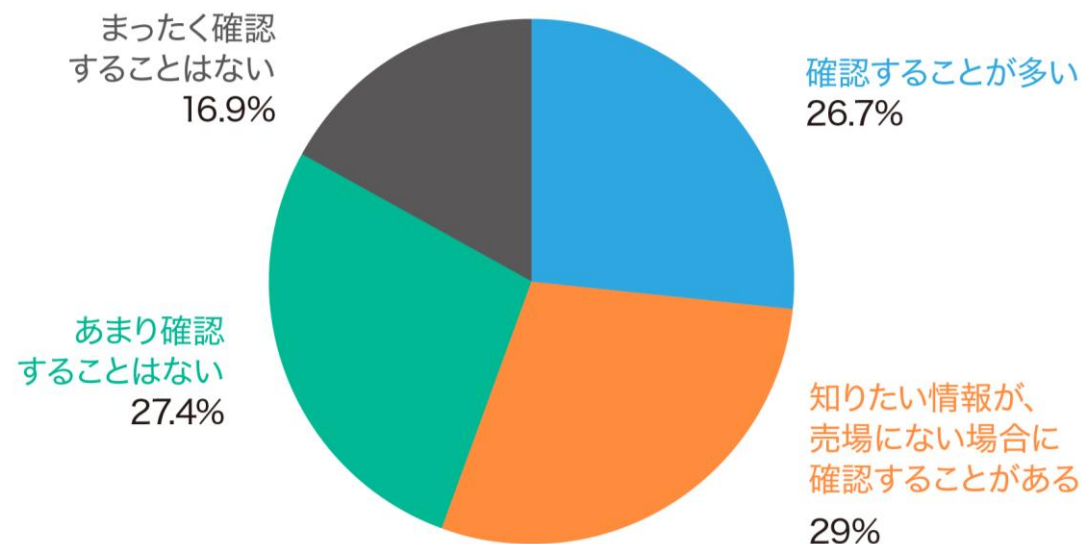
2020年(コロナショック後)



実店舗の消費にEC・SNSが影響する



■ 実店舗で商品を見ているとき、その場でネットショップやSNSを確認することがありますか。



itsumo.inc.

実店舗にて、6割近くの人がECサイト・SNSを確認することがある。

出所：2020年12月実施：いつも. 実施「生活者のネットショッピング実態調査」より

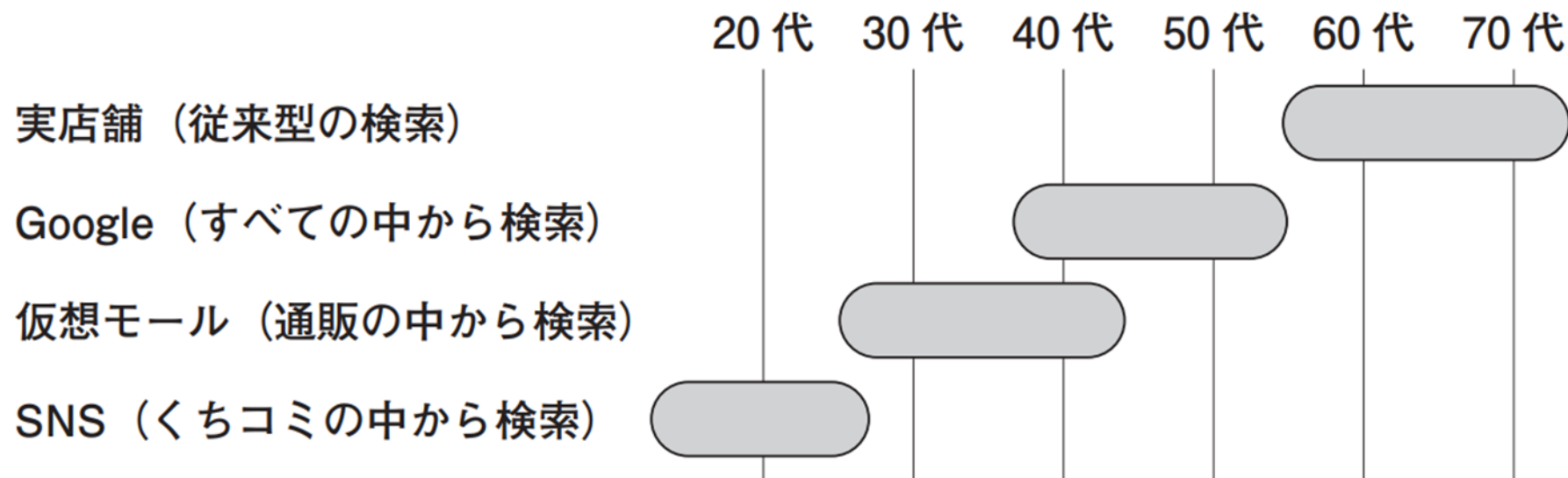
買い物行動の変化



消費者の商品を探す場の変化



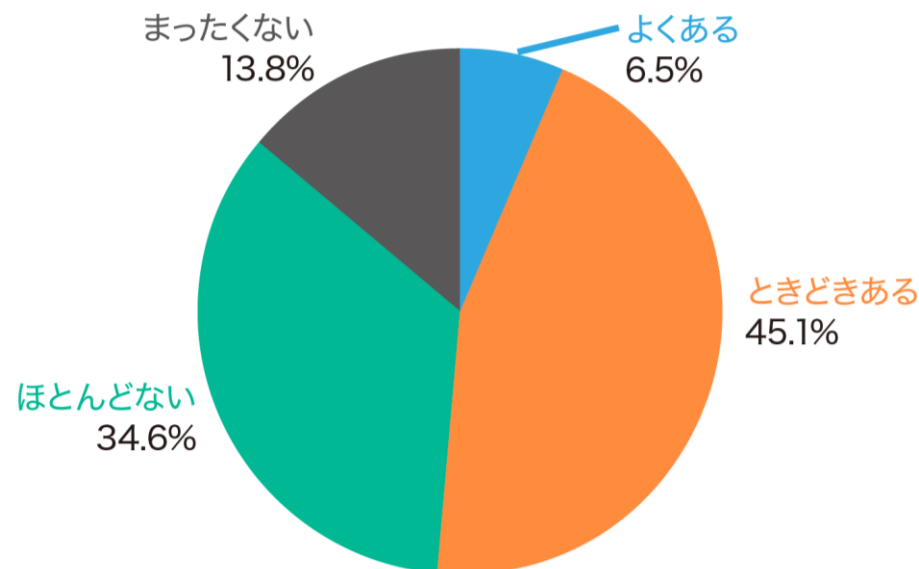
新しい商品を買う時にどこで検索するか？



ブランド直営店舗・ECで購入が加速



■ 小売店舗ではなく、お気に入りのブランドや生産者の直営店舗・ECサイトで、直接お買い物することはありますか。

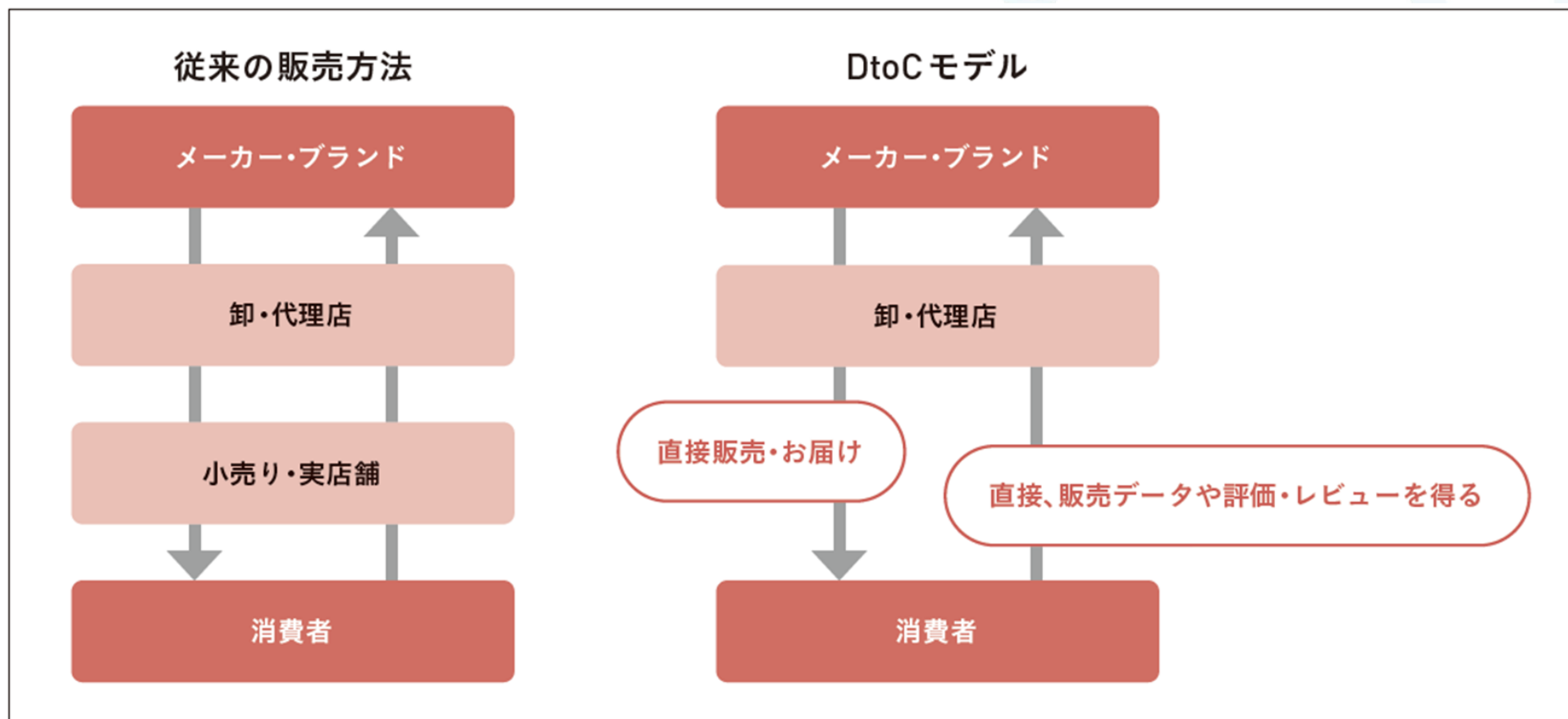


Itsumo,inc.

5割の人は、ブランド直営の店舗・ECサイトで購入経験がある。

出所: 2020年12月実施: いつも. 実施「生活者のネットショッピング実態調査」より

直販(DtoC)モデルが主流に



デジタルシェルフ（棚）の重要性が増す



実店舗の一等地



スマホの一等地



評価・売上が高いと
良い場所を取れる

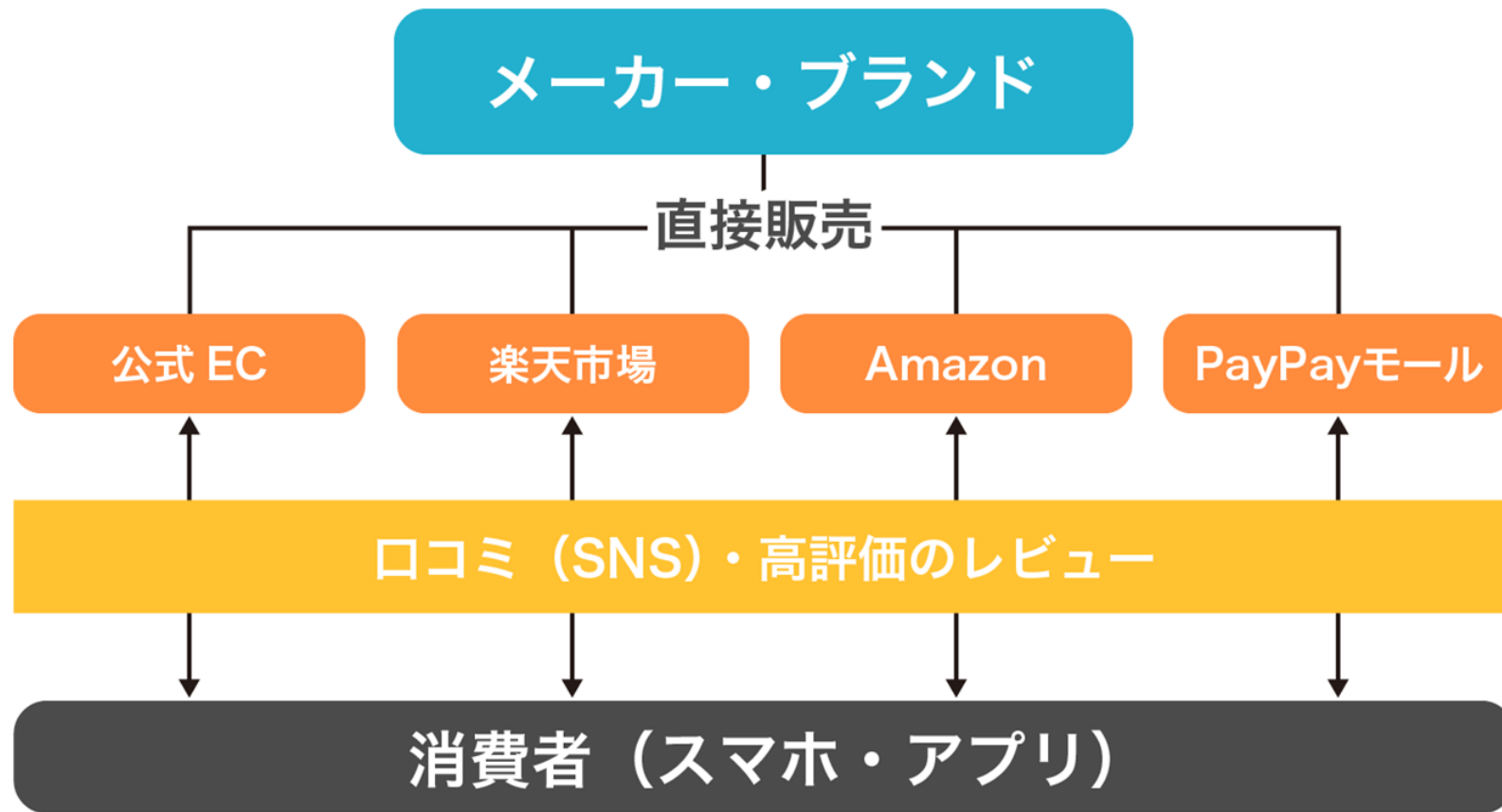
評価・売上が下がる
と場所も悪くなる

新しい買い物スタイル



ウィッシュリストショッピング	SALEとかあるととにかくウィッシュリストには入れるけれど、買わない
レコメンドショッピング	情報過多で何を選んでいいのかわからない、選ぶのが面倒くさい、だから他人のオススメなどを参考に買う
ソーシャルショッピング(PtoC)	著名人の推奨や友達の口コミなどで買う
ブランドショッピング	D2C(Direct to Consumer)の形。消費者がメーカーや小売店と直接やりとりをして買う
ストップウォッチショッピング	日用品など比較検討が必要なさそうなものは手間をかけずにECで買う

ECで成長するための販売モデル



EC事業者の課題

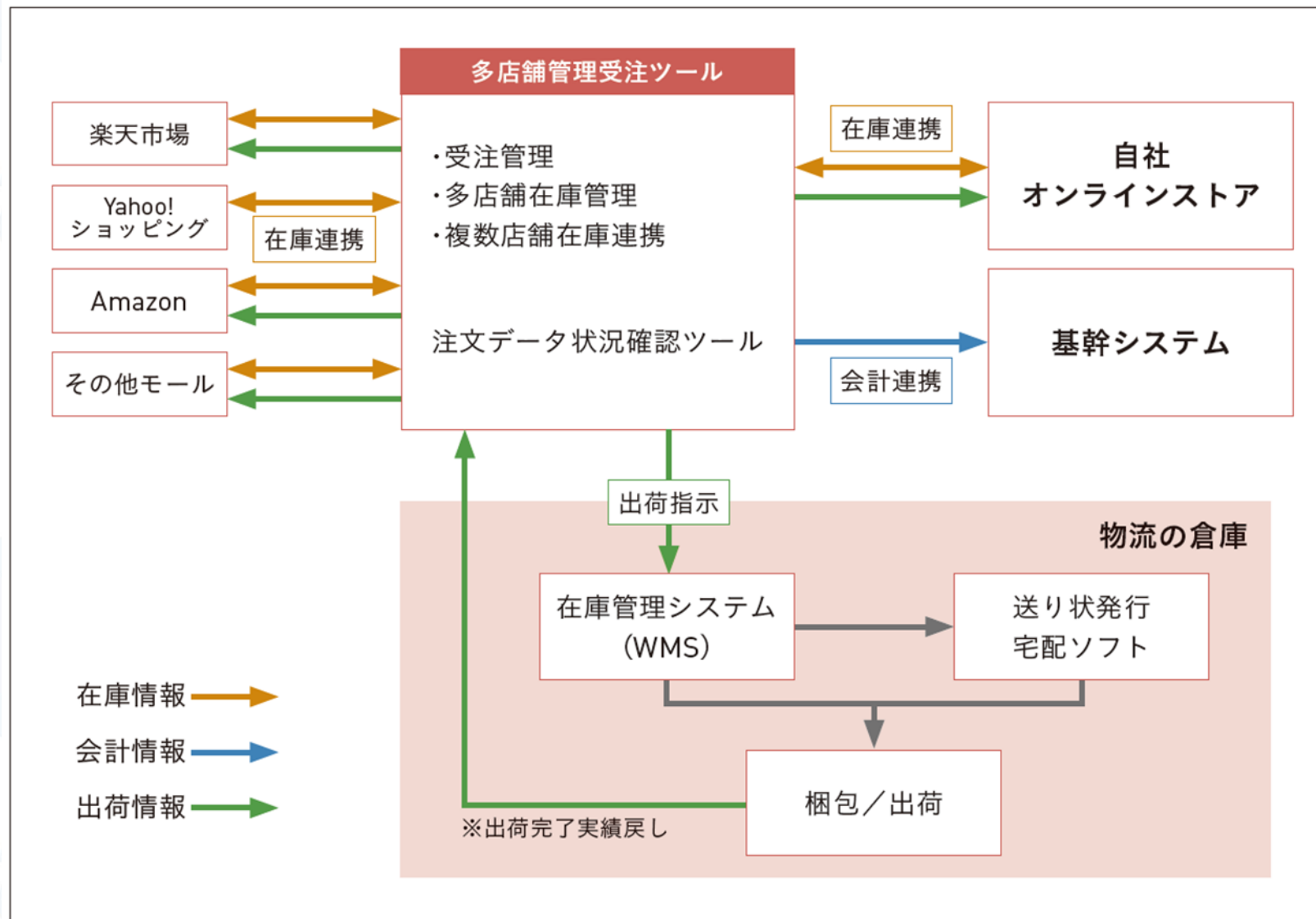


	EC事業のテーマ・課題	回答人数	比率
1	既存ECサイトの売上改善	975	23%
2	集客・広告見直し	738	17%
3	SNS活用	736	17%
4	店舗とECの融合	495	11%
5	D2C新規参入	437	10%
6	人材採用・育成	235	5%
7	EC店舗の追加出店	200	5%
8	海外販路開拓	192	4%
9	物流見直し	185	4%
10	決済手段の追加	86	2%
11	事業承継・売却	28	1%

既存ECサイトの
集客・売上アップが
課題の上位に

出所: 2022年2月・3月開催 当社のECイベント申込者アンケート回答より

EC成長を支える体制作りも課題に



ご清聴ありがとうございました。

全国のEC支援実績
売上アップ実践レポートなど
HPよりご確認ください。

いつも EC



itsumo.